

私たちが未来つくる

8/2
五社

戦争法案反対列島包む

1500人県庁前あふれる



1500人が詰めかけた戦争法案の廃案を求める
県民集会＝7月31日、那覇市の県庁前ひろば

那覇市の県庁前で7月31日夜、「憲法は戦争法案一守り」の集会が開かれ、会場は道向かいまであふれる1500人が結集しました。憲法学者、弁護士、国会議員、子育て世代の母親らが次々とマイクを握り、「未来をつくるのは私たち」「安倍総理さまさしなな」と廃案を訴えました。

3人の子とも壇上に上がった保野士郎の城間真由さん(38)は「谷村は私を守りたいのは大切な人の命。無関心は無責任と同じ。政治の代償は子どもに降りかかる。親の背中を子どもにしっかりと見せてカッコいいおとなになりましょう」と涙ながらに訴え、共感の拍手が包まれました。

超党派集会に1600人



「戦争法案、廃案、廃案」などと唱和し練り歩く参加者＝7月31日、相模原市南区

神奈川相模原市で7月31日夜、戦争法案ストップを訴える大会が開かれ、参加者1600人は「全力を尽くして戦争法案を廃案にし、憲法9条を守り、しっかりと子や孫にバトンタッチする」とのアピールを採択しました。

民主党顧問・元財務相の藤井裕久氏は、B29爆撃機の手足が落ちた米兵を見たと言った「戦争には、戦勝国も敗戦国もない」と訴え、「戦争を美化するナショナリズムは許さない」と安倍首相を批判しました。

座間恵一実行委員長(相模原市長)が主催者あいさつし、政界では、日本共産党、民主体、社民党の各党があいさつ。共産党の細野君枝院議員は「みなさんの力で安倍政権を包囲し廃案勝ち取らなければ必ず止められる」と話していきな

声上げ続けよう

愛知県東海市で7月31日、戦争はダメダメ大会とパレードin知多半島PART2が開かれました。猛暑の中、参加者は3000人を超える人が集まり、声を上げて続けよう

会連絡会主催。半田市で7月4日に開いた集会に続く2回目です。主催者あいさつで阿久比(あぐい)9条の会の竹内康明さんは「圧倒的多数の憲法学者や国民が『安保法制は憲法違反』といっている。廃案、撤回させよ」と話しました。東海市

「戦争展」にパネル展示

集会後、参加者は「戦争ダメダメ」ストップ戦争法案と書いてボードを掲げ市内をパレード。結城美佐代さん(64)は「今回は衆院強行採決に怒った人たちが来て、半田の人たちが来、半田の集会より100人くらい多く集まった。大きな集会だけでなく地域での宣伝もしたい」と話しました。

さいたま市で1日が始まった「平和のたのめ」の埼玉の戦争展で、「これは戦争への道」と題した戦争法案のパネル展示が心を呼んでいます。「いつでもどこでもアメリカの戦争に参加し日本が攻められ

を感ずる」と語りました。知多半島の日本共産党議員が参加しました。

「戦争展」は、JR浦和駅西口コロン7階ホールで3日まで。